

梅毒 増加が止まりません！

都内の昨年（2022年）の梅毒報告数は3,677件と過去最多となりました。

東京都の梅毒患者報告数（2012～2022年）



特に、女性の報告数が増加しており、直近10年で約40倍となっています。

症状経過の一例

第Ⅰ期 (3週間～) 性器・肛門・口などにしこりができる

数週間で症状消失

第Ⅱ期 (数か月～) 手足や背中など全身に赤い発疹が現れる

症状消失するが静かに進行

晩期 (数年～) 脳や心臓にも影響を及ぼし重症化も

梅毒ってどんな病気？

梅毒は梅毒トレポネーマによる細菌性の性感染症です。性行為で粘膜や皮膚の小さな傷から感染します。感染すると右図のような症状が出る場合がありますが、一旦症状が消えるため治ったと間違われることがあり、発見が遅れる危険があります。妊娠中に梅毒に感染すると、お腹の赤ちゃんに感染してしまい、死産、早産、新生児死亡などに繋がることがあります。

詳しくはコチラをご参照ください！→
(東京都性感染症ナビ)



どうすれば防げるの？

コンドームを正しく使うことが予防には有効です。

しかし、コンドームが覆わない部分の皮膚などでも感染がおこる可能性があり、オーラルセックスやアナルセックスでも感染するので、100%予防できるとは言えません。症状が無くても感染していることがあるので、検査を受けましょう。

自分だけが治療してもパートナーから再感染することもあるのでパートナーも完全に治すことが必要です！

梅毒は早期の治療で治せます。

まずは検査で早期発見しましょう！

梅毒はHIVの感染リスクも高める可能性があります。多摩府中保健所では、「HIV・梅毒検査」を実施しています。詳しくはコチラ↓

多摩府中保健所「HIV・梅毒検査」のご案内

https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/tamafuchu/kansen/HIV_HTLV.html



【この記事に関するお問合せ】保健対策課 感染症対策担当